

池原 昭治

さやまの伝本

第128話



お正月には寒い北風の吹く中、童たちは元気よく遊びます。わらで編んだ縄で「いったんかした、いったんかした」と、大きな声で唄いながら縄跳びをして走りまわります。そのとき縄が地面にあたるころを少し水でぬらして重みをつけますと、足に引っかかるずに面白いように跳べるのです。

こんな工夫をしながら、おじいちゃんからはずんぶんその伝承遊び

ふるその伝承遊び

べえさま、おばあちゃんからは、ツマお手玉(お父さんには少し手伝ってもらい「竹馬」、お母さんからは「ちよつ」と難しい「手まり」を習って、何度か失敗しながら作っていきます。そして、自分独特のものを作りだしたときの喜び。手作り遊びのよさは家族で作る楽しさです。ふるその伝承遊びは、大切に続けていきたいものです。



市の花 / つつじ

古くから稲荷山公園のつつじとして、親しまれた花であることから、市の花として決まりました。

狭山が発祥の地

童句

童句は、自分が童心に帰って詠む俳句です。狭山市童句研究会の選による作品を掲載しています。

雪もよい	箱根路走る	ド根性	大沢 久美
初まいり	静かに並ぶ	受験生	奥井 八重子
祖父拜む	東の初日	西の富士	岩間 子郎
曲り家に	馬も着飾る	お正月	木村 鈴子
校歌の碑	染めて希望の	初日影	広沢 一岐
ほろ酔いの	年賀の父を	つれかえる	

創始者

土家由岐雄

何かな? 今月の写真クイズ

写真は、今月号に掲載した写真を拡大したものです。何ページの何の写真でしょうか? 正解者の中から、抽選で5名に記念品を差し上げます。官製はがきで広報課あてにお送りください。



締切り1月31日(火・当日消印有効)

12月10日号の答え

11ページ・ひと・まち・写真館の「なぎなた教室・なぎなた」の写真でした。



表紙の写真

12月11日、狭山稲荷山公園で第13回クロスカントリー IN SAYAMAが行われ、北は北海道から南は鳥取まで、499名が参加しました。起伏のあるコースが、自然に囲まれた公園内の芝生を利用して設置され、参加者は周囲の景色を楽しみながらも懸命にゴールを目指しました。



狭山市公式モバイルサイトのQRコード
 QRコードに対応した携帯電話で読み取ると公式モバイルサイトへ簡単にアクセスできます